経営比較分析表（令和3年度決算）

青森県　南部町

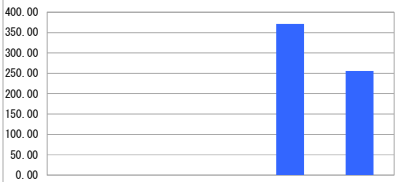
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D3	非設置
資金不足比率(%)	**自己資本構成比率(%)**	**普及率(%)**	**有収率(%)**	**1か月20m³当たり家庭料金(円)**
-	該当数値なし	8.11	105.26	1,730

人口（人）	面積(km²)	人口密度(人/km²)
17,301	153.12	112.99
処理区域内人口(人)	**処理区域面積(km²)**	**処理区域内人口密度(人/km²)**
1,392	0.33	4,218.18

グラフ凡例
- ■　当該団体値（当該値）
- ー　類似団体平均値（平均値）
- 【】　令和3年度全国平均

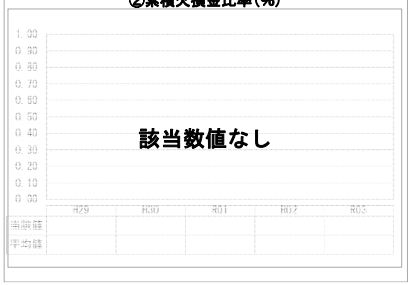
1. 経営の健全性・効率性

①収益的収支比率(%)



	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	-	-	-	371.53	255.85
平均値					

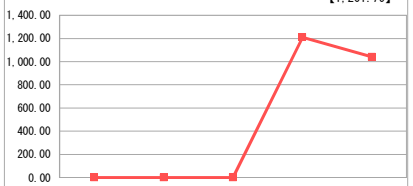
②累積欠損金比率(%)



③流動比率(%)

④企業債残高対事業規模比率(%)

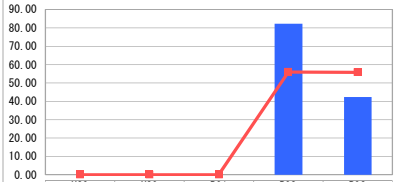
【1,201.79】



	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	-	-	-	0.00	0.00
平均値	-	-	-	1,209.45	1,042.64

⑤経費回収率(%)

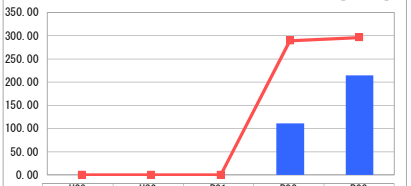
【75.31】



	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	-	-	-	82.26	42.38
平均値	-	-	-	55.93	55.76

⑥汚水処理原価(円)

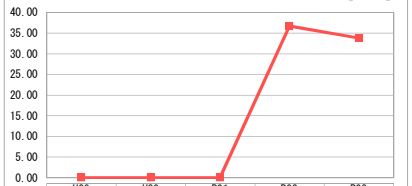
【216.39】



	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	-	-	-	110.89	215.02
平均値	-	-	-	289.60	296.15

⑦施設利用率(%)

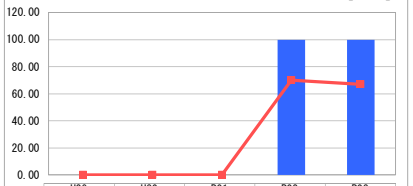
【42.57】



	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	-	-	-	0.00	0.00
平均値	-	-	-	36.71	33.80

⑧水洗化率(%)

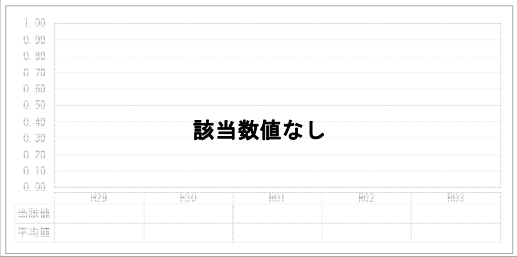
【85.24】



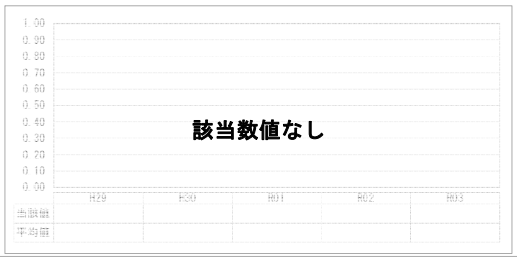
	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	-	-	-	100.00	100.00
平均値	-	-	-	70.05	67.09

2. 老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)

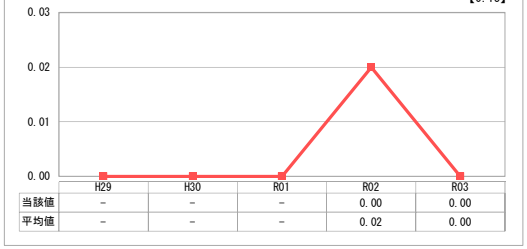


②管渠老朽化率(%)



③管渠改善率(%)

【0.15】



	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	-	-	-	0.00	0.00
平均値	-	-	-	0.02	0.00

※　法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

昭和47年に民間事業者が設置し供用開始したが、昭和48年に本町へ寄付され、維持管理運営をするようになった。
寄付を受けてから48年が経過しており、老朽化により平成30年に特定環境保全公共下水道事業として位置付け、現在、建設事業継続中である。
水洗化率については100%である。
企業債残高については終末処理場建設事業費による企業債及び他会計繰入金の増加が想定される。
今後は、下水道使用料の見直し、適正な維持管理運営による汚水処理原価の逓減、施設利用率の向上を目標に長期的に収支の均衡を図っていくことが求められる。

2. 老朽化の状況について

管渠改善率については、現在低い水準である。
しかし、管渠については標準耐用年数を超えているため、令和3年度のカメラ調査により一部改築が必要な管渠を把握し、令和4年度から更新事業を実施しており令和6年度に更新予定である。
管渠改善率は今後上昇すると予想する。
また、老朽化している現終末処理場については、令和7年供用開始に向け水処理施設及び汚泥処理施設を建設中である。
今後、管渠については、ストックマネジメント計画による効率的な調査点検、経済的な管更正工法の選定、適正な維持管理運営が必要である。

全体総括

供用開始から48年経過しており、建設事業継続中であるため、企業債及び他会計繰入金の依存度が高くなるが、水洗化率は100%である。
今後は、下水道使用料の見直しによる使用料金収入の増加、ストックマネジメント計画による効率的な調査点検及び管更正工法、適正な維持管理運営により、平均値に近づけていけるよう努めることが必要である。